
サンドバック。

augusu

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サンドバック。

【著者名】

Ζεύδ

【作者名】

augusu

【あらすじ】

シヨーテシヨーム。

ああ、もうすぐあの時間だ。

呆然と突つ立つてゐるだけの俺からしたら夜はまさに安息の時間だ。
朝まではまだ良い。叩かれる音はどうやらやかましいらしい。
自分勝手に殴つてくるくせに。

玄関のドアが開いて男が出てくる。

ああ、あの時間だ。また殴られるのか。

痛いとも言えないし、反撃も出来ないのに…。

男は軽く柔軟体操をして身軽そうに体を宙に浮かせる。ピュンピュン

ンと。

そんなに身軽じやないだろ？。お前のパンチは俺の綿を超えて芯まで響くんだ。

俺は立つているタイプのサンドバックだ。それなりに重さがある。
なのに俺の重さ」と後ろにずれたり、果てには蹴つ飛ばされてぶつ
倒される事もある。

だから、そんなに楽しそうに準備運動をしないでおくれ。

ああ、やつてきた。男はグローブをはめて早速軽くジャブを打つ。
ビシビシ。痛くない。それはまだ男が準備運動の延長でしかないか
らだ。

ズドン。ほら来た。これだ。これが痛いんだ。

男自慢の右ストレート。体が後ろのずれ込んでいく。

ああ、痛い。芯が砕けそうだ。

けれど俺を作つた奴はそれくらい想定済みで、これくらいでは絶対
に壊れない。

きっとこれからもこうして殴られ、痛いつ！

意表をついて左のストレートだ。

考えている間にも男は左右、上下にパンチを当てる。

ああ、酷い。どうしてこんな田にあう物に生まれてしまつたのだ。
別に、それが誇らしくもあつたりするけれど、痛いものは痛いのだ。
とうとう男のペースは最高潮になつた。一秒に何度も拳をぶち当てる。

：ああ、痛い。

生まれ変わりたい。こんな田にあうなんて生まれた時から決まって
いるなんて信じられない。

いつか俺が壊れたら、絶対に生まれ変わつてやる。

一度とサンドバックなんてやるものか。

そんな事を思うことしか、今の俺に対抗策なんてないんだから……。

男は汗をかき、息を切らせてグローブを外してやはり整理運動をこなしてまた戻つていつた。

男がシャワーで汗を拭うようと、俺も安息の時間がやつてきたのだ。
ああ、助かった。今日の右ストレートは痛かった。

最後の後ろ回し蹴りも痛かった。

なんて物に、生まれてしまつたんだろう……。

いつか、いつか生まれ変わつたなら、

絶対復讐してやる。

俺が殴る側に回るんだ。

何時も何時も俺を殴つてくる、

… その男のしている、グローブになつて。

(後書き)

"J感想お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6386z/>

サンドバック。

2011年12月21日14時52分発行